

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 青木 信哉

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答 弁 者
<p>1. 武豊町が結ぶ各種協定・覚書等について</p>	<p>【趣旨説明】 地域が抱える社会課題に対して自治体と民間企業等が双方の強みを生かして課題解決に対応する動きがだんだん増えてきています。地方自治体の結ぶ各種の協定や覚書の中には公害防止協定や指定管理者制度を含め、近年では災害時における緊急協力や福祉に関する協定などが多く締結されています。武豊町に於いても古くからある各企業と結ぶ公害防止協定や、災害時における相互応援に関する協定に加え、東日本大震災を契機に多くの企業や団体と新たに災害協定を結ぶケースが増えていきます。またその他にも障害者政策や、地域医療や福祉に関すること、また教育やまちづくりに関することなど多岐にわたっています。こういった協定は指定管理者制度の契約的な側面が大きいものと、災害発生時に適用されるものなどを除き、平時には強く縛られるものではない為、具体的な成果がみえにくいものでもあります。協定や覚書などを結んだ後にお互いがどのように生かしていくかが重要であると考えます。 そこで以下質問します</p> <p>【質問事項】</p> <p>①各種の協定書、覚書などが締結された後は、どのような運用がされていくのか。</p> <p>②武豊町地域見守り推進事業に関する協定において見守りにつながった事例はあるか。</p> <p>③H30年5月にファイザー株式会社と締結した協定は武豊町民等の健康づくりの推進にどう生かされたのか。</p> <p>④H20年4月に武豊町が国立大学法人豊橋技術科学大学ならびに武豊町商工会と締結した産学官交流に関する覚書による町づくりに対する成果は何か。</p> <p>⑤今後、武豊町が抱える課題への対応として、協定や覚書を目指している分野は何か考えているか。</p>	<p>町長 副町長 教育長 部課長</p>